

## 令和6年度 長野吉田高等学校学校評価表（評価項目と評価の観点）

領域	対象	評価項目	重点目標・項目番号	評価の観点
教育活動	生徒指導	生徒の自立心と社会規範意識を高めさせる生活指導を行う。	2-(1)	身なりや挨拶、登下校時のマナーを含め公共の場における適切な態度を身につけさせることができたか。
			2-(1)	集団生活の中で、他者を思いやり、自ら考えて行動する態度を育てることができたか。
	進路指導	生徒が自主的に目標をもって学び、意欲的に進路実現を目指す学習・進路指導を行う。また、将来の生き方・働き方を考え、選択決定する上で必要な、基本的な能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す。	1-(1)	進路指導係として、本校生徒全体の学力向上を目指し、生徒自身が具体的な学習目標をもつことができるような教科指導・進路指導を行うことができたか。
			1-(2)	進路指導係として、夏期講習・学習合宿・補習・個別指導・小論文指導等を充実させ、生徒個々の希望や実情に応じた進路指導を行うことができたか。
			1-(3)	進路指導係として、生徒が自発的に家庭学習時間を増やすよう、学校全体で取り組めたか。
			1-(4)	進路指導係として高大接続改革をふまえ、共通テスト・探究学習や新学習指導要領への対応を、関係部署と連携しながら進めることができたか。
			4-(2)	進路指導係として、就労体験等の機会の活用を図りながら、望ましい勤労観、職業観を育成できたか。
	生徒会	生徒の主体的行動を促し、一人ひとりが責任感を持って意欲的に自治活動に取り組む、各々が成就感を持てるよう支援する。	3-(1)	日常の委員会活動や諸行事の運営の中で、生徒会役員がそれぞれの場でリーダーシップを発揮し、全校生徒が主体的に参加できるような創意ある活動をおこなうための支援ができたか。
			3-(2)	クラブ活動への加入、活動の活性化を促進し、クラブ活動がより一層充実するよう支援することができたか。
	平和人権教育	平和人権教育を計画的に推進し、職員研修を実施する。	4-(1)	全校生徒を対象に、人権・平和に関する講演・朗読会または映画鑑賞を実施し、事前事後学習と関連させてHR等での学習を深めることができたか。
			4-(2)	平和人権学習の時間をHR等で計画的に確保できたか。
			4-(1)	平和人権教育に関する教職員の研修を実施し、校内での実践等を交流できたか。
	施設整美防災	校内美化に対する意識の向上および清掃活動の徹底と防災意識の涵養に取り組む。	2-(1)	生徒会整美委員会が中心となり、日々の清掃活動の励行、ゴミの取り扱いに対する意識を高める等、生徒と職員が一体となって、日常的に取り組むことができたか。
			2-(2)	校内の施設、設備の点検・整備を行い、有効に利用することができたか。
	図書視聴覚	生徒の教養に資する資料を提供するとともに、生徒・教職員の学習・教育活動を積極的に支援する図書館運営を行う。	1-(1)	広報活動や読書旬間等の行事、生徒会図書委員会の活動の活性化を通じて、読書活動の充実を図ることができたか。
			1-(3)	日常の学習や進路学習において、教科や係と連携を深め、資料の提供ができたか。
	保健	自らの健康について関心を持ち、生涯を通じて自発的に健康な生活を送ることができる能力を身につける。	2-(1)	定期健康診断や健康相談活動等を通じ、自らの健康課題を把握し改善することができるよう保健管理・保健指導を行えたか。
			2-(1)	学校において予防すべき感染症について、最新の情報収集により感染拡大防止策の徹底がなされたか。
	探究学習	生徒が自ら課題を発見し、解決していく力を養う。	1-(4)	探究学習係として、情報収集に努め、効果的な学習活動を実施できたか。
			4-(1)	探究的学習を通じ、生徒に学校外の社会についての理解を深めさせ、社会参画するの姿勢について考えさせる事ができたか。
学習指導	生徒の学習状況や指導上の問題点を把握し、各学年や関係部署と協議しながら学力向上のための研究・実践を行う。	1-(1)	授業アンケート等を通して、生徒の意見・要望を聞き取り、教科指導の向上・充実につなげることができたか。	
		1-(3)	学習室の環境整備に努め、土曜日における生徒の学習室利用を促すことができたか。	
教育課程	施行している新教育課程について本校の編成内容が適切であるか検証し、より学習効果が高まる教育課程を研究する。	1-(4)	新教育課程下での学習効果と課題の検討を行い、必要に応じて見直しを行うことができたか。	
		1-(1)	主体的・対話的で深い学びを踏まえて、学校全体及び各教科で授業内容の研究・検討とそれに伴う観点別の学習評価の検証ができたか。	

## 令和6年度 長野吉田高等学校学校評価表（評価項目と評価の観点）

領域	対象	評価項目	重点目標・項目番号	評価の観点	
教育活動	1学年	基本的な生活習慣を土台に、学習、班、生徒会それぞれの活動に誠実に取り組み、自ら考え、主体的に行動する力をつけ、確かな学力の向上と目標とする進路実現の展望を開く。	2-(1)	人との関わりや学習環境を整えながら健全な日常正活を送り、良好な人間生活の形成を図れる人格を育成することを目指し、毎日のあいさつや身だしなみ、公共のマナーや身の回りの整理整頓、掃除に丁寧に取り組むことができたか。	
			1-(2)	日常の学習、補習、提出課題、夏季合宿、大学見学、模擬試験などを充実させ、1年次より自分の将来像について考えさせ、生徒個々の希望や実情に応じた進路指導を行うことができたか。	
			1-(4)	教科の学習、「総合的な探究の時間」およびHR活動等において、タブレット端末を有効に利用し、生徒が自主的に目標を持って学ぶことができ、情報リテラシーを高めることができたか。	
	2学年	基本的な生活習慣を土台に、学習、班、生徒会それぞれの活動に意欲的に取り組み、自ら考え、行動する力をつけるとともに、自己肯定感を持ち、お互いを尊重し認め合う中で確かな学力の向上と「社会に貢献できる人」になるため、果たすべき自分の役割や自分らしい生き方を考え、将来の	2-(2)	人との関わりを円滑にするあいさつや身だしなみ、また、気持ちのよい学習環境を整えるための掃除や身の回りの整理整頓に、毎日丁寧に取り組むことができたか。	
			1-(1)	「スコラ手帳」などを活用し、目標設定や計画、実践、振り返りのサイクルを通して進路実現に向けて学力を高めることができたか。	
			2-(1)	教科の学習、「総合的な探究の時間」およびHR活動等において、タブレット端末を有効に活用する中で、インターネットリテラシーを高めることができたか。	
	3学年	社会を構成する一人として、常に周囲への関心や気遣いを持てるようになる。また、将来の目標に向け、ひたむきでたゆめぬ努力を惜しまない人間になることを目指す。	2-(1)	個々の生徒が、自らの生活習慣を自ら見つめ、律し行動することで、周囲へ良い影響を与えられるようになるように声かけを行えたか。また、生徒同士の相互作用により、気持ちよい学校生活の雰囲気作りができるようになったか。	
			1-(1)	個々の生徒が、何事に対しても前向きに全力で取り組む姿勢を持ち、悔いの無い高校生活を送れるように、様々な場面でアドバイスや投げかけを行うことができたか。また、自らの進路実現に向けに努力する生徒たちをいかにバックアップし、目標達成の一助となったか。	
			3-(1)(2)	生徒たちがクラブ活動や生徒会活動にしっかりと取り組めるように、環境整備やアドバス、サポートを行うことができたか。	
学校運営	教務	生徒が意欲的に学習、クラブ・生徒会活動に取り組むことができるようスムーズな学校運営を行う。	1-(1)	年間行事予定に定められた諸行事を、学年・教科・係・委員会が連携を密にして取り組めるように、立案・計画・運営ができたか。また感染症対策の緩和を考慮し適切な計画を作成できたか。	
			情報機器と校内ネットワークの管理・運営を進めるとともに、生徒および教職員のICT活用を積極的に支援する。	1-(4)	情報機器および校内ネットワークの円滑な維持管理ができたか。授業・学校行事へのICT活用だけでなく、会議資料の電子化・電子採点など職員間でのICT活用を進めることができたか。また統合型校務支援システム(C4th)の円滑な運用ができたか。
				4-(1)	学校案内パンフレットならびに公式ホームページの工夫・充実をはかり、本校を志願する中学生が本校についてよりよく理解できるような情報提供ができたか。
	PTA	保護者と教職員の連携を図り、学校の教育活動を支援する。	2-(2)	PTA諸活動が、保護者が学校への意見や要望を出しやすい機会となりえたか。	
			2-(2)	生徒の学習活動やクラブ活動などに関する教育条件整備を支援することができたか。	
	「開かれた学校づくり」推進	「開かれた学校づくり」を研究・推進し、学校をより活性化化する。	1-(1)	授業公開・教育実習等の機会を捉え、魅力のある授業を行うための校内研究を充実させ、教員の資質向上を図ることができたか。	
4-(2)			学校自己評価表作成と中間評価及び総括、学校評議員会等の意見などの反映に加え、新しい「学びの指標」・「生徒育成方針」フィードバックシステムの活用も進め、よりよい学校づくりに資することができたか。		